

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	身体拘束の研修は定期的に行っているが個人での振り返りが出来ていない	職員一人一人が普段の自分の言動を振り返ることで、身体拘束をしないケアの意識を高める	定期的に職員の振り返りが出来る仕組みとして、虐待の芽チェックリストを活用する	6ヶ月
2	35	避難訓練時、地震や風水害を想定した訓練ができていない	地震や風水害を想定した訓練を実施していく中で課題や問題点を把握し、有事の際にスムーズに対応ができる	年間の避難訓練の計画の中に、火災だけではなく地震や風水害を想定した訓練を盛り込み、緊急時に備えて取り組む	12ヶ月
3	35	避難経路としてベランダを使って移動するが、ベランダにプランターなどの物が置いてあり避難の際の妨げとなる可能性がある。	ベランダにできるだけ物を置かず、避難の妨げにならないよう避難経路の確保に努める	プランターの置き場所を検討し、避難経路を確保する。	1ヶ月
4	35	運営推進会議時に、口頭で訓練の報告をしているが議事録に残していない。	運営推進会議の中で行った報告は確実に議事録に残していく	運営推進会議において、避難訓練の報告は口頭だけではなく議事録に残していく。	1ヶ月